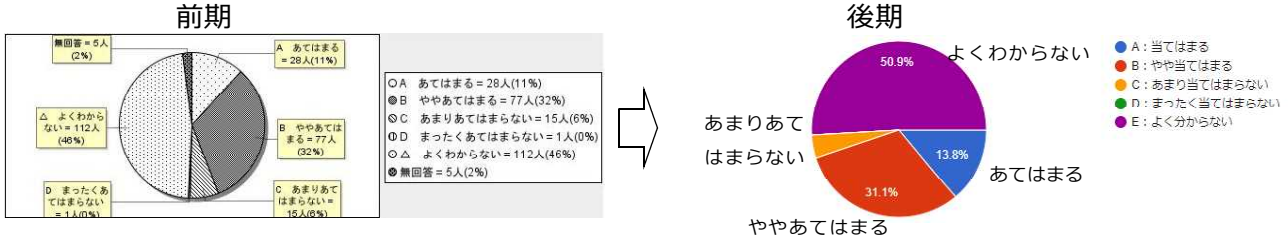


回収率	1年	2年	3年	回答
1回目	80%	71%	57%	A:あてはまる B:ややあてはまる
2回目	61%	45%	47%	C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない

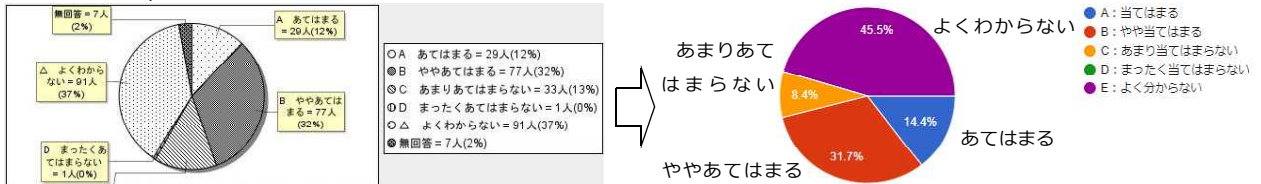
1 教師は、授業の中でお子様が関わり合う場面を意図的に設定していた。

No.1



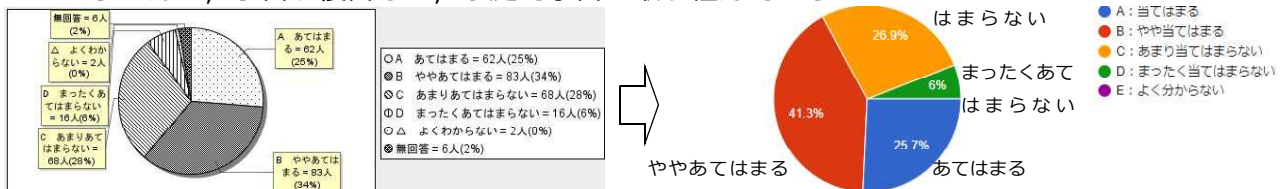
学校の今年の組織目標は、「共に学び磨き合える生徒の育成」です。アンケート結果では、生徒・保護者・教師ともに肯定的な考えの割合が増えました。感染症対策を講じながら、協働的な学習を進めてきた成果と捉えます。これからも授業内容をさらに工夫し、日頃の学習の様子を分かりやすくお伝えしていきたいと考えます。

2 教師は、お子様の学習の足跡がわかるようなノート指導をしていた。



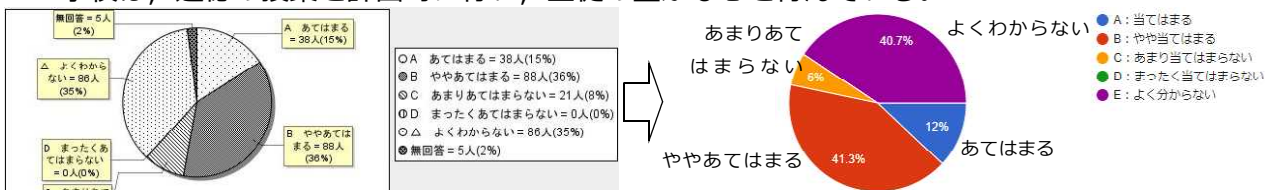
今年度は、授業を通してどのような力を身に付ければよいのかを明確にした授業づくりに取り組んでいます。生徒の結果では、A+Bの割合が7割を越えています。今後は、ノート指導についてのお知らせを増やして、保護者の皆様に指導のねらいや内容が伝わるように努めていきます。

3 お子さんは、予習や復習など、家庭で学習に取り組んでいる。



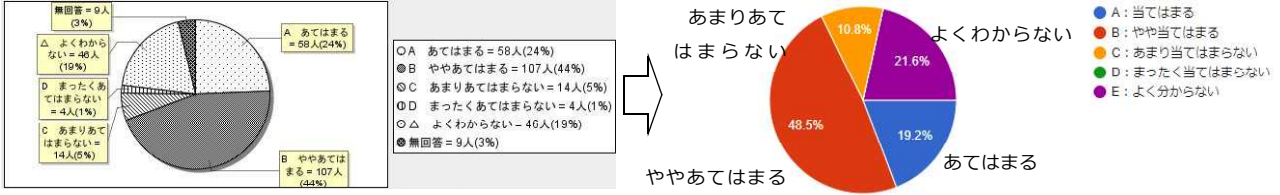
A+Bの割合が増えました。生徒アンケートでも、昨年度に比べ、10ポイントほど肯定的な考えが増えています。3年生は進路実現に向けて、1, 2年生においても1年後, 2年後を見据え、毎日の積み重ねを大切にしていけるよう、日々の学年において継続指導をしています。また、今後も効果的な予習復習のしかたについて指導を進めていきます。

4 学校は、道徳の授業を計画的に行い、生徒の豊かな心を育てている。



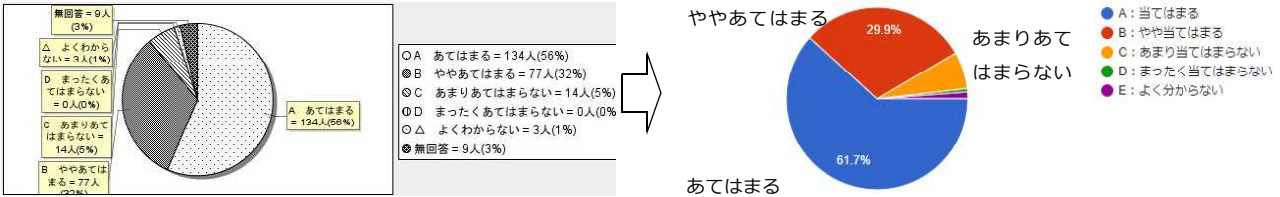
今年度、授業参観や自由参観時に道徳の授業を公開できなかったもので、ご回答が難しかったと思います。道徳科の教科書・ノートを活用し、自分に置き変えて考えたり、友達と意見を交流したりしながら考えを深める授業を実践しています。今後は日常の実践力に繋がられているか見取る必要があると考えています。

5 学校は、生徒が主体となるよう、学校行事や生徒会活動、学級活動に取り組んでいる。 NO.2



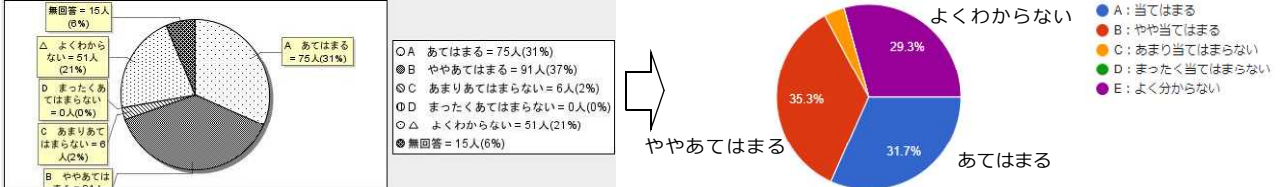
A+Bの合計がどの学年も6割以上でしたが、生徒の結果を見るとまだまだ、自分たちで作りにくいという思いは高くないようです。今年度は、限られた条件の中でできることを考えながら、ねらいの達成に向けて工夫した取組を行ってきました。今後も生徒たちによる学校行事の運営等を全職員で支援し、生徒主体の活動をさらに活性化し、活気のある学校づくりに取り組んでいきます。

6 お子さんは、時間を守って学校生活を送ることができた。(登下校を含む)



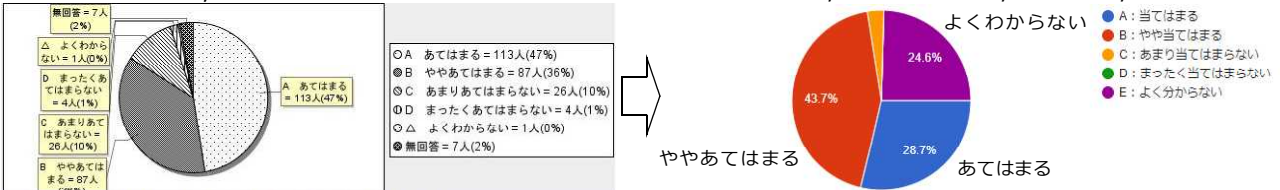
本校には「時を守り」「場を清め」「礼を正す」という学校生活の基本方針（基本的な生活習慣）があります。その中でも、時を守るということについては、生徒も教師も心に留め努力している内容です。他の結果よりも全体的に結果がよくAの割合も高いのは、その現れだと考えます。

7 学校は、清掃の指導を継続的に行い、生徒に習慣づけることができた。



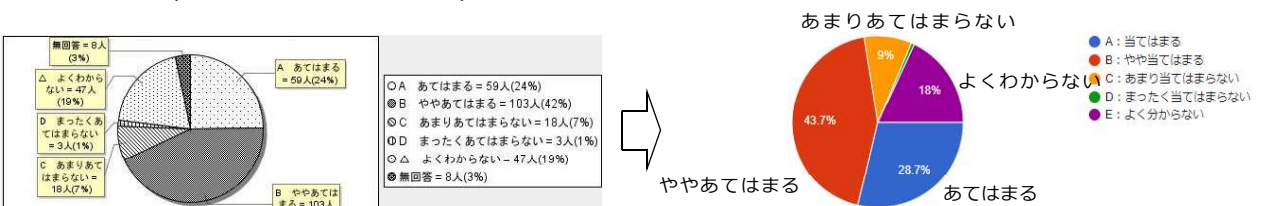
学校生活の基本方針である「場を清め」です。本校では清掃を「黙働」で行っており、学区内小学校と一貫した指導に取り組んでいます。心を落ち着かせ、自らに問いかけ清掃を行っていますが、習慣付けという面ではまだまだ課題があります。今後今以上に取り組みます。

8 お子さんは、家庭内で自ら進んで挨拶をしている。(おはよう,行ってきます,ただいま,おやすみ…)



ほとんどの生徒は、自らあいさつできていると保護者の皆様に認められています。学校においても、さわやかなあいさつができる生徒が多くなってきています。さらに、良好なコミュニケーションを図る言葉掛けができるよう、職員自らもモデルとなるよう努めていきます。

9 教職員は、生徒に関わりながら、生徒の個性を理解しようとしている。

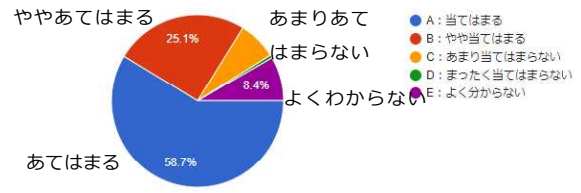
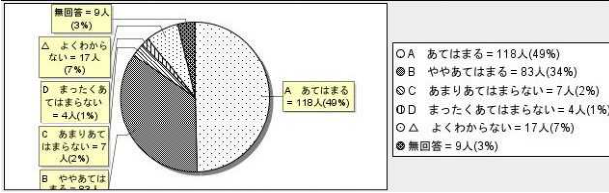


前期の肯定的な評価が約7割でしたが、後期の評価は全体的に上がり、Aの割合も大きく増加しています。今後も一人一人との関わりを大切にして、学習指導や生活指導、進路指導に努め、保護者の方々と情報交換を密にしながら生徒理解に努めていきます。



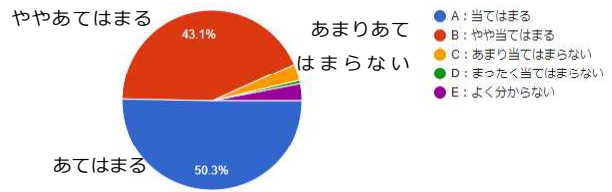
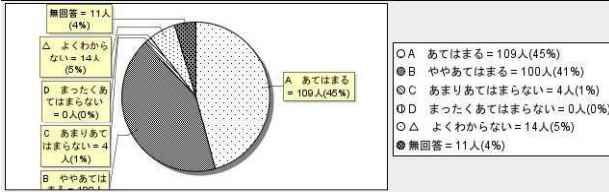
### 10 お子さんは、いじめのない学校生活を送っている。

NO.3



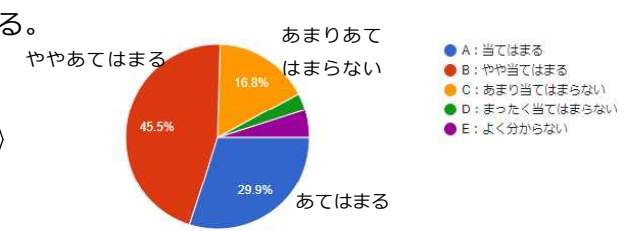
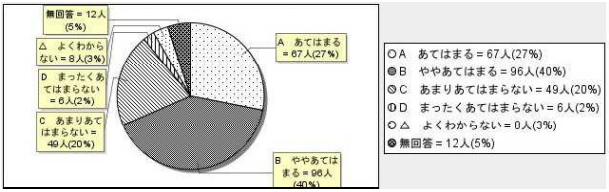
約8割の保護者の皆様に、中根台中学校ではいじめのない学校生活が送れていると感じていただけています。いじめについては本校でも必ず起きうると捉え、常に安全・安心な学校づくりに努めていきます。今後もいじめ根絶に向け、未然防止、早期発見・早期対応を全職員で行ってまいります。

### 11 お子さんは、友達と助け合いながら学校生活を送ることができている。



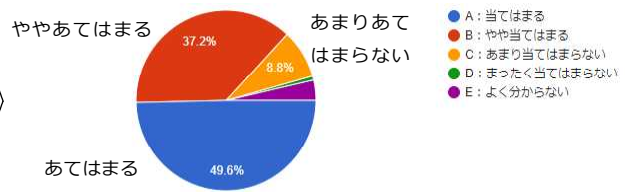
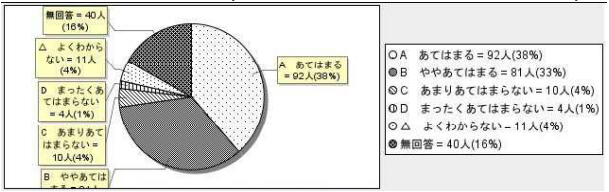
全学年でA+Bの割合が9割を超えています。多くの保護者の皆様に、評価していただきました。今後も生徒同士が関わり合う場を設定し、支え合うよさを実感できるようにし、「助け合い」のたくさんある学校づくりに努めます。

### 12 お子さんは、夢や目標に向かって頑張っている。



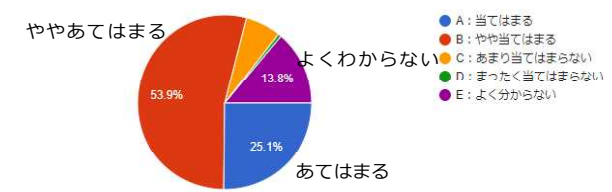
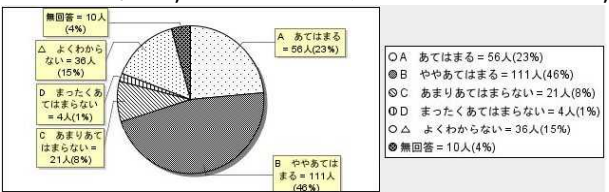
中根台中学校区では、小中一貫教育のテーマに「夢を語り 学びをつなぐ 学校づくり」を掲げています。学級や部活動等でも、個人目標を立て、日々の活動に取り組んでいます。夢や目標が形骸化しないよう、振り返りの機会を大切に、保護者の方と情報共有しながら、生徒が自己の成長を実感できるように努めます。

### 13 お子さんは、部活動に進んで取り組み、心も体も成長している。(入部者のみ)



前期は、部活動の時間が十分に確保できませんでしたが、各種団体の感染症対策ガイドラインに則り、活動できる内容が増えました。3年生はまいりゅう3年生大会や校内発表会、1・2年生は新人戦に向けて意欲的に部活動に取り組みました。中学校生活の中で大きな意味をもつ部活動ですので、今後も充実した活動となるよう学校全体で力を入れていきます。

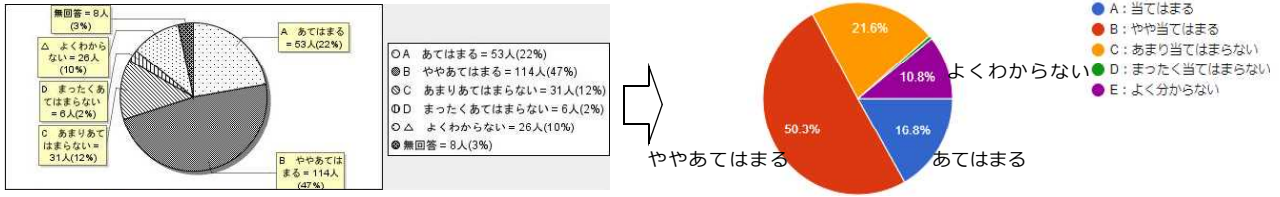
### 14 学校は、家庭との連携の大切さを意識し、信頼関係づくりに努めている。



後期はA評価、B評価ともに向上しました。学校と家庭が一枚岩となることで、子供たちへの教育効果が大きく広がります。今後も一人一人との関わりを大切にして、学習指導や生活指導、進路指導に努め、保護者の方々との情報交換を密にしながら信頼関係づくりに努めていきます。

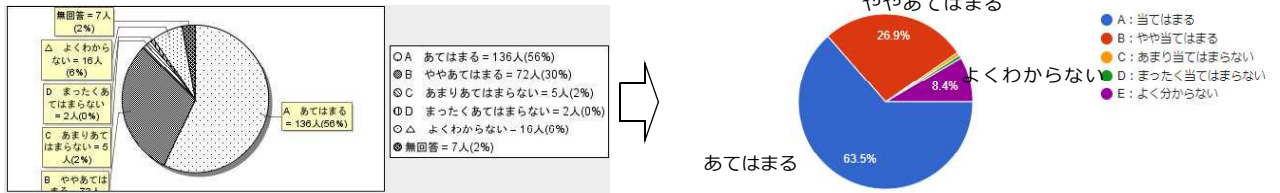
1 5 学校の教育活動の内容や生徒たちの様子が家庭に伝わっている。  
(学校だより・学年だより・ホームページなどから)

NO.4



全学年においてA+Bが約7割ですが、後期はAの値が減少しています。学校だより、学年だよりとともにホームページを充実させるとともに、メール配信を活用し、学校の様子を分かりやすくお伝えする努力をしていきます。

1 6 教職員の電話や職員室での対応の仕方は丁寧である。



保護者の皆様からの電話や来校時の対応については、本校の信頼度にも関係する重要なことです。高い評価が見られますが、これからも研修を重ね、丁寧に対応できるよう努力していきます。